

(1)

特別重点研究「愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究」事業の進捗について

山田邦明

愛知大学特別重点研究「愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究」は2020年度から3年間の企画で、2022年度は最終年度にあたる。本年度において、現在までに行ってきたことは以下の通りである。

①研究成果発表会の開催

2022年10月1日(土曜)に研究成果発表会「愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物-100年の歳月(とき)を超えて-」を開催した(愛知大学豊橋キャンパス620教室、午後1時30分より)。昨年度(2022年1月22日)に開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大により中止を余儀なくされ、今回開催にこぎつけたものである。まず山田が「陸軍第15師団の設営」という報告を行い、続いて愛知大学豊橋校舎の構内にある陸軍関係の建物の調査を担当された泉田英雄氏による「愛知大学豊橋キャンパスに残る旧陸軍建物と図像資料-払い下げ時の建物実測図集の意味-」と題する講演があり、多数の参加者を得た。会場のそばの小教室において、泉田氏の講演でも言及された「旧豊橋第一予備士官学校(歩兵隊) 払下申請図面」の一部(復写したもの)を展示した。また、講演終了後、泉田氏の案内のもと、大学構内を巡見して陸軍関係の建造物を見学する機会を持ち、ここでも多数の参加があった。

②陸軍第15師団跡地の巡見

研究成果発表会の翌日(10月2日)、陸軍第15師団跡地を歩き、南部中学校・豊橋工科高等学校・王ヶ崎公園にある門柱・哨舎や、師団設置時に開鑿・整備された排水路(山田川・内張川と師団都市下水路)を中心に巡見する機会を持った(参加者は14名)。11月15日にも教員4名で師団跡地を巡見し、地形の

観察、排水路の確認などを行った。

③陸軍第15師団跡地の建造物などの調査

8月上旬、愛知大学の近隣にある学校を訪問し、建造物などの調査・確認を行った。訪問したのは時習館高等学校・豊橋工科高等学校・南部中学校・福岡小学校・中野小学校で、時習館高等学校に昭和18年に豊橋愛馬会が作製した馬の像(レリーフ)、豊橋工科高等学校に陸軍時代のものと思われる鉄製の遺物が存在することなど、新たな発見を得た。

④陸軍第15師団と同時期に設置された師団跡地の見学

陸軍第17師団が設置された福岡県久留米市に赴き、地形や遺構を見学した。師団司令部跡地とその近辺、騎兵・輜重兵・野砲兵・山砲兵各聯隊の跡地、歩兵聯隊の跡地(現在陸上自衛隊が所在)、師団長官舎(現在は高牟礼会館)などを巡見して、排水溝の状況の確認などを行い、あわせて久留米市中央図書館を訪れ、関係資料の調査収集を行った。

⑤陸軍第15師団にかかわる史料の搜索

前年度に引き続き、豊橋市中央図書館に赴いて新聞記事の搜索を行った。対象とした新聞は『新朝報』『新愛知』『三遠日報(新愛知附録)』『豊橋日日新聞』である。また、騎兵第19聯隊にいた星野茂吉(のち堀内と改姓)の日記を、次男の堀内博氏、長女の両角洋子氏から総合郷土研究所に御寄贈いただき、新たな研究史料に加えることができた。日記は4冊(大正2年8月から大正5年3月まで)で、毎日の出来事が丹念に記載されており、当時の軍隊における兵士の日常生活などを伝えてくれる貴重なものである。